

事務事業名 御前湯高齢者入湯料一部負担事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1241

施策：	10	高齢者福祉の充実	財務コード	01030102-12-00
基本事業：	01	社会参加といきがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成20年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市内居住の65歳以上の高齢者		筑紫野市社会福祉協議会により運営されていた福祉センター御前湯が平成20年度より筑紫野市武蔵財産区により運営されることになり、65歳以上の半額免除について市の福祉事業として継続するため市が1回の使用料との差額を負担する。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		入湯料 入湯料200円のうち100円を市が負担。 平成28年11月1日から料金改定により入湯料が250円とした。				
高齢者が利用しやすい入浴機会を設け、高齢者の健康増進と孤独感の解消の一助とするとともに、高齢者福祉の向上を図る。		市民課及び出張所で御前湯利用証を発行。  武蔵財産区より、利用者割引料負担金請求書が提出される。 高齢者支援課は、武蔵財産区へ負担金を支払う。				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度実績	30年度実績	01年度当初	02年度要求	03年度計画	04年度計画	目標
65歳以上入湯者数	人	63,969	60,553	64,000	62,000			65,000

5. コスト								
事業費	計	千円	6,396	6,055	6,277	6,215		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	6,396	6,055	6,277	6,215			
正職員人工数	人工	0.03	0.03	0.03				
正職員人件費	千円	240	243	242				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	6,636	6,298	6,519	6,215			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	【状況】利用者数はH28年度以降から引き続き減少している。前（年比0.95） 【原因】H28年度に実施した利用料及び個人負担金の値上げによって減った利用者が引き続き影響していると思われる。 【その他】なし。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	減少	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし
成果向上余地	小さい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

補助金額及び個人負担金を引き続き検討する必要があるが、この3ヶ年度の利用者数減と照らし合わせると、成果指標を検討する必要がある。	補助金額や個人負担金など課題はあるものの、高齢者福祉の向上を目的とし、引き続き、高齢者が利用しやすい入浴機会を設けるための支援は必要である。
--	--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
筑紫野市武蔵財産区営御前湯において、筑紫野市に居住する65歳以上の高齢者の使用料の割引相当額を高齢者福祉施策の一環として、平成20年度より市が負担している。	武蔵財産区への移管にあたり市と武蔵財産区の協議により協定を結んだ。